

# 元戦車中隊長の模型部屋 第8回

皆さんこんにちは。お陰さまでこのコーナーも全国のモデラーの方々に見ていただいております、嬉しいやら恥ずかしい限りです。そんな折、ある展示会で他のモデラーの方から「実際の演習では草や木を付けるんでしょう？その車両を作ってみてください！」と宿題をもらっちゃいました。・°・(ノД)・°・

うーん、草や木の表現に自信がないからどうしようかな・・・と思いましたが、困難に立ち向かうのが自衛官です(笑)で、今回紹介させていただくのは・・・



## 96式装輪装甲車(演習仕様)です。

車両の説明は、所長の模型部屋(第4回)や募集班長の模型部屋(第20回)で紹介していますので、今回は省略します。演習における偽装の方法としては、草木を使う方法、対赤外線用偽装網(バラキューダ)を使用する方法などがあります。草木を使う方法は訓練場所での地形にあった草木を使うので簡単ですが、時間が経つとしおれてしまったり、枯れてしまったりするので交換が必要となります。今回はこの草木を使った偽装での作例としました。



今回は草木の表現に何をを使うかが大きな課題でした。まず枝ですが、庭の木や根を乾燥させたものを使い、その上にライケンと呼ばれる苔を接着しました。

それだけでは不自然なのでいろいろ探していたら、娘が「お父さん、良いのが百円ショップにあったよ！」と乾燥苔を教えてくれ、それを細かくちぎって接着して葉を表現しました。娘に感謝！枯れたススキは麻紐をほぐしたのを使用しました。





偽装はその装備品の形を不明瞭にすることにより敵に分からなくさせることが重要です。だからといって山のように盛れば良いわけではなく、各種視察装置や武装の火力発揮を阻害しないように取り付けることに着意しなければなりません。青い番号板は撃破番号というもので、戦闘時の被害状況付与などの審判をするときに使用します。



車体だけでなく、灯火やバックミラーなどの光るものを布などでカバーし、反射により敵から発見されないようにします。この作例では紙ナプキンやマスキングテープをオリーブドラブ色で塗り、そのナプキン灯火などに被せたり貼付けたりしています。



ナンバープレートや部隊名なども板で隠したりオリーブドラブ色のガムテープで隠しています。草木を縛着させているのはタイヤのゴムチューブの細切りを使用するのですが、その表現を黒で塗ったマスキングテープで表現しています。ちょっと緩くなっちゃった（泣）



車体後部の泥の跳ね上がりや、後部ハッチから乗員が乗り降りする時に付着する泥を、ウェザリングスティックをウェザリングブラシで叩いて付着させ表現しました。テールライトもオリーブドラブ色のガムテープ等で隠しますので、それをマスキングテープで表現してます。



タイヤも演習場では泥だらけです。遠慮なくウェザリングスティックのマッド色を塗りたいります。草木を固定するゴムチューブの表現が不十分だな・・・勉強しなければ。



演習では様々な装具や食料、個人被服などをターピーシートで包んで縛着しています。車内に入れると狭くなるので・・

そのシートを食堂のテーブルにある紙ナプキンをオリーブドラブで着色し、再現しています。

ターピーシートのゴワゴワ感がうまく表現できました。どうですか？今回の作例の中でもここだけは自信があります（笑）



上：操縦手ハッチは戦闘行動中なので閉鎖状態に改造  
左：車長用ハッチは安全チェーンを取り付けました。



乗員は演習同様、顔にドーランを塗りました。私の戦車中隊では左上から茶黒黄緑の順で塗っていたので、本作例も私の中隊に配属になったという想定で普通科隊員をそのように塗ってみました。演習中は腕まくりをしないのですが、元のキットが腕まくりをしたものだったので・・・もっとも私が偵察行動時も腕まくりしてドーランを腕に塗ってたし(笑)

96式自動てき弾銃と89式小銃の金属部はGS | クレオスのメタルカラーのダークアイアンを使用しました。併せて鉛筆芯の粉をこすり付けて金属感を出してみました。



乗員が乗下車する箇所は泥が付着しますので、ウェザリングスティックのダークアースやマッドをこすり付け、それを表現しました。



過去に作ったA型（左：96式自動てき弾銃搭載型）、B型（右：12.7mm重機関銃搭載型）と並べてみました。うん、どれもカッコイイ！ではまた！